

国語辞典を使って、慣用句の意味を調べ、カードにまとめよう

小学校3年 国語
「慣用句を使おう」
教科・領域での活用

ねらい

- 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。

【我が国の言語文化に関する事項】(3) イ 知識及び技能

学習展開

- ① 国語辞典の使い方確かめる。
- ② めあての確認をする。
- ③ 調べる慣用句を決め、国語辞典を使って意味を調べる。
- ④ カードにまとめる。
- ⑤ まとめたカードを友達と紹介し合う。
- ⑥ 振り返りをする。



学習後、図書館の入り口付近に、児童が作成した慣用句カードと、関連図書を展示。

司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭が事前に相談する。
- 学校司書は慣用句に関する本を予め選書し、児童に紹介できるようにしておく。
- 司書教諭はワークシートの準備をする。
- 学校司書と司書教諭は児童の作品を点検する。
- 学校司書は作品を掲示し、便りで知らせる。

指導のポイント

- 完成したカードを用意しておき、児童が見通しをもって取り組めるようにする。
- 児童が作成した慣用句カードは図書館に掲示することを予め伝え、全校児童に伝えるという意識をもって取り組ませる。

資料

金田一春彦 監修(2023)『学研新レインボー小学国語辞典』学研プラス
三田村信行(2019)『それがあったか!慣用句』童心社
山田繁雄 監修(1998)『まんが慣用句なんでも事典』金の星社 等